

2022年10月26日(水) 第四水曜祈祷会

エゼキエル書33:1～16

「立ち返れ」

【前章までのあらすじ】 *25—32章は、周辺の諸民族、諸国家についての預言

- ①32章前半はエジプトについての第六の預言()についての哀歌。
- ②第六の預言はファラオだけでなく、エジプトとその()の哀歌でもある。
- ③第七の預言はエジプトの大軍が地下の国で()とともに横たわる。

【観察と黙想】 *33—39章は、イスラエルの回復に関わる預言がはじまる

1. イスラエルの家の見張り(33章1～9節) *見張人は危険が迫ってきたら警告を発する役目。

- ①見張人にはどんな責任があり、民にはどんな責任がありますか。
→
- ②「イスラエルの家の見張り」預言者にはどんな責任がありますか(7節)
→
- ③預言者が警告を与えた時、民はどのような地度をとるべきですか。
→

2. 絶望の中の希望(33章10～11節) *預言者は神のことばを語る神の代弁者

- ①イスラエルの人々は、捕囚の地バビロンで神のさばきを聞いてどう思いましたか。
→
- ②神は悪しき者がどうすることを喜ばれますか。
→
- ③「立ち返る」とは具体的にどうすることですか。
→

3. あなたは必ず生きる(33章12～16節) *大事なのは過去よりも、今をどう生きるか。

- ①神はエゼキエルを通して、「自分の民に」どう告げられましたか。
→
- ②正しい人が自分の正しさにより頼み、不正を行うならどうなりますか。
→
- ③悪しき者はどうしたら「彼は必ず生きる」と言われますか。
→

【適用と分かち合い】

- ①霊的な見張人として、クリスチャンにはどんな役目がありますか。
- ②神は悪しき者について何を望んでおられますか(I テモテ2:4、II ペテロ3:9)
- ③今私たちが生かされていることの意味、また、自分に委ねられている使命は何ですか。